

人を殺せない吸血鬼と、 命を手放そうとする青年の 出会いを描いた、 ダーク・ファンタジー

「喜んで命を捧げる、必要とされるならね」

人を殺せない吸血鬼が会ったのは、生きることを諦めようとする人間の青年。

第80回ヴェネツィア国際映画祭ヴェニス・デイズ (Giornate Degli Autori) 部門で最優秀監督賞を受賞！第48回トロント国際映画祭のオフィシャルセレクションに選出されるなど、世界の映画祭で注目を浴びた話題作が、日本にやって来る！

主演は「ファルコン・レイク」にて一躍注目を集めた、新星サラ・モンブチ。感受性豊かなヴァンパイア、サシャをアンニュイな魅力たっぷりに演じる。学校でいじめを受ける孤独な青年ポールを演じるのは、新人のフェリックス・アントワーン・ベナール。メガホンを取ったのは、短編「Little Waves (英題)」がトロント国際映画祭や、ベルリン国際映画祭でノミネートを受けた、アリアヌ・ルイ・セーズ監督。短編作品でその才能を証明してきた新進気鋭の監督が、初の長編作品に挑んだ。

STORY

サシャは、ピアノを弾くことが好きなヴァンパイア。彼女は吸血鬼一族のなかでただ一人、ある致命的な問題を抱えていた。

——感受性が豊か過ぎて、人を殺すことができないのだ。自ら人を手にかけることはせず、生きるために必要な血の確保を親に頼り続けようとするサシャ。両親は彼女の様子を見て、いとこの「血気盛ん」なドゥニースと共同生活を送らせることを決める。血液の供給が断たれたサシャは、自分で獲物を狩るようドゥニースに促されるが、どうしても殺すことができない。心が限界を迎えたとき、自殺願望を持つ孤独な青年ポールと出会う。どこにも居場所がないと感じている彼は、サシャへ自分の命を捧げようとして申し出るが——。

監督：アリアヌ・ルイ・セーズ

脚本：アリアヌ・ルイ・セーズ クリスティエヌ・ドヨン

出演：サラ・モンブチ フェリックス・アントワーン・ベナール スティーブ・ラブランテ

2023年/カナダ/カラー/シネスコ/5.1ch/91分/フランス語

原題：VAMPIRE HUMANISTE CHERCHE SUICIDAIRE CONSENTANT / 日本語字幕：大塚 美左恵

配給：ライツキューブ © Belles canines inc. - 2023 Tous droits réservés.

7.12 [Fri] ROADSHOW

明後通りぬい 地下鉄 B1 出口正面 ココビル 8F

ヒューマントラスト シネマ渋谷

03 (5468) 5551 ttcg.jp

テアトルシネマグループ